

## 第4学年国語科学習指導案

日 時 平成 18 年 10 月 20 日(金) 6 校時

指導者 前 川 晴 子

児 童 男 3 名 女 6 名 計 9 名

- 1 単元名 調べて発表しよう 「伝え合う」ということ  
資料「手と心で読む」

### 2 単元について

#### (1) 主な目標

本単元の主たる指導事項は「ア 伝えたい事を選び、自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話すこと」と「イ 話の中心に気をつけて聞き、自分の感想をまとめること」である。

この力を育てるためには「伝えたい相手と伝えたい事柄を明確にし、話す目的をはっきりさせる」ことや「自分に伝えたい事は何かという観点で、事柄の順序や要点、中心など、話の組み立て方を意識しながら大事なことを聞き取る」力を育てることが大切である。

そこで本単元では、『手と心で読む』をきっかけに、点字などの伝え合いの方法に興味を持ち、自分の課題をもって調べて発表するとともに、交流によってさらに知識を得、ものの見方・考え方を広げる。」ことを主たる目標とする。

#### (2) 児童の実態

3年生までに、身近な話題への興味・関心を持ちながら事柄を順序立てて分かりやすく話したり、互いの考えを聞き合ったりしてきた。また、1学期には「伝言はまちがえずに」で、主として電話での会話を例に、適切な伝え合いにおける言葉の使い方、聞き取りメモのとり方を学習してきた。

「話すこと」に関しては、話し好きな児童が多いが、場に応じた音量や言葉遣いで話したり、筋道を立てて話したりするのが苦手である。「聞くこと」に関しては、話を部分的にしか聞き取れていない児童もいる。

#### (3) 指導にあたって

本単元は調べる活動が中心である。資料「手と心で読む」を読み、続けて山田町福祉協議会の方に来ていただいて、点字体験をさせたい。そして、それらをもとに、どんなことを調べてみたいか課題を設定させるのだが、課題によって後の学習の成否が決するので慎重に検討させていきたい。課題が決まったら、追求の方法を考えさせる。なるべくなら実地の取材を大切にしたい。対象とじかに接して得られるリアリティーは、文献や電子媒体ではわからないからである。

調べたことをまとめる段階では、筋道を立てて話すために、伝えたいことがよく分かるような組み立てを考えさせ、原稿にまとめさせたい。調べた成果は全体発表会で報告するが、事前に発表の仕方の指導やグループ練習、「聞き取りメモ」の指導等を十分に行ってから取り組ませ、成就感を持たせたい。

### 3 単元の目標

#### (1) 関心・意欲・態度

伝え合い、分かり合うには、いろいろな方法があることに気づき、調べたりまとめたりしたものを聞き手にわかりやすく伝えようとしている。

#### (2) 話すこと・聞くこと

クラスの友達に自分の考えが分かるように筋道を立てて話すことができる。

話の中心に気を付けて聞き、自分の感想をまとめることができる。

友達の発表と自分が調べたことや考えたこととを比べて、感想を発表することができる。

#### (3) 言語事項

グループ内、クラス内など、状況に応じて適切な音量や速さで話すことができる。

相手やその場の状況に応じて丁寧な言葉で話すことができる。

### 4 学習指導計画（14時間扱い）

前単元から

大事なことを落とさずに話したり聞いたりしよう「伝言はまちがえずに」  
相手に用件が伝わるように、大事なことを落とさず、筋道を立てて適切な言葉で話すことができる。  
大事なことを確かめながら聞き、短い言葉でメモを取ることができる。



段階	主な学習活動（時間）	学習活動の工夫	主な評価規準
みとおす	教材文を読み、学習のめあてをつかむ。 （2）	・ 普段自分の気持ちや考えをどんな方法で伝え合っているかを具体的に出し合い、日常的にいろいろな方法で伝え合っていることに気づかせる。	学習のめあてをつかみ、学習の手順をとらえることができる。（観察・発言・ノート）
ふかめる	自分の課題を決め、グループごとに調べる内容について話し合ったり、調べる方法や分担を話し合ったりする。（1）	・ 課題を決めることができるように、資料や写真を用意したり、話し合いをさせたりする。 ・ 類似の課題を持った児童同士で、2～4人程度のグループを作る。	調べる内容や方法について積極的に話し合おうとする。 （観察・発言・ノート）
	決めた内容にそって調べる。（3）	・ 図書室や、インターネットなどを利用させる。 ・ 図書館や点字が使われている公共施設などに行って調べさせる。	計画に沿って進んで調べることができる。（観察・取材メモ）
	調べたことをまとめる。（3）	・ 調べて分かったことから、一番知らせたいことを選ばせる。	伝えたい中心をはっきりさせて、始め・中・終わりの簡単

		・話始めと結びを考え、発表全体を組み立てさせる。	な組み立てで原稿を書くことができる。(発表原稿)
	発表の仕方を工夫する。(3)	・聞き手のほうを向いて話せるように、発表メモを工夫する。 ・友達に聞いてもらったり、録音を聞いたりして、練習する。 ・聞き方を考えさせ、聞き取りメモの取り方を練習させる。	グループで工夫して練習し、適切な音量や速さ、言葉遣いで話すことができる。(観察)
	発表のめあてを確かめ、調べたことを発表する。(1) 本時1/1	・友達の発表を聞きながら、工夫した聞き取りメモを作り、書き留める。	友だちの発表を、話の中心に気をつけて聞き、感想を持つことができる。(観察・聞き取りメモ) 相手やその場の状況に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。(発表)
まとめる	学習のまとめをする。(1)	・テーマを振り返り、「伝え合う」とはどういうことか自分なりの考えを持てるようにする。	感想を交流し合い、「伝え合うこと」について自分の考えをまとめることができる。(ノート)

次单元へ



話し合って決めよう  
 クラスでの話し合いを通して、互いの考えの相違点や共通点を理解しながら意見をまとめるために話したり聞いたりする力を身につける。

## 5 本時の指導

### (1) 目標

関心・意欲・態度

「伝え合う」ということを考えながら、調べてまとめたものを聞き手に分かりやすく伝えようとしている。

話すこと・聞くこと

自分の考えがよく分かるように話すことができる。

話の中心に気をつけて聞き、感想を持つことができる。

言語事項

適切な音量や速さ、視線、言葉遣いで話すことができる。

(2) 本時の指導にあたって

本時は、「ふかめる」段階の最後の第11時間目で、調べまとめたことを全体へ発表する場面である。

前時までのグループ練習で聞き手を意識した話し方を練習させ、一人一人が自分の考えを伝えられるようにしたい。

また、ワークシートを活用し、聞き取りメモや感想をまとめたり、発表の仕方を振り返ったりさせたい。そして、それをもとに児童同士の感想交流が活発になるようにしたい。

(3) 展開

段階	学習活動(主な発問・児童の反応)	指導上の留意点(・支援 評価)		
みとおす  5分	<p>1 本時の学習課題を確認する。 課題を読みましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分の考えを「伝え合う」発表会をしよう。</div> <p>発表者は、自分の一番伝えたいことが伝わるように話す。 聞く人は、何が一番伝えたいことなのかを聞き取る。そして、感想を伝える。</p> <p>2 発表のめあて・聞き取りメモのポイントを確認する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゆっくりと</li> <li>・ みんなに聞こえる声で</li> <li>・ 聞く人の顔を見て</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大事なことを</li> <li>・ 短く</li> <li>・ 記号を使って</li> </ul> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゆっくりと</li> <li>・ みんなに聞こえる声で</li> <li>・ 聞く人の顔を見て</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大事なことを</li> <li>・ 短く</li> <li>・ 記号を使って</li> </ul>	<p>・ 前時までの振り返りをし、本時の学習意欲を高める。</p> <p>・ 伝え合うための、発表のめあて、聞き方のポイントであることを意識させる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゆっくりと</li> <li>・ みんなに聞こえる声で</li> <li>・ 聞く人の顔を見て</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大事なことを</li> <li>・ 短く</li> <li>・ 記号を使って</li> </ul>			
ふかめる  30分	<p>3 発表会をする 発表会を始めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループごとに発表する。</li> <li>・ 発表メモをもとに、聞く人にも視線を移しながら発表する。</li> <li>・ 聞き取りメモを取りながら、発表者に顔を向け、発表を聞く。</li> <li>・ 発表内容について、質問や感想を出し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞く人の顔が見えやすいように、机を円く並べる。</li> <li>・ 児童に進行させ、つまづいている場合は円滑に進むようアドバイスする。</li> <li>・ 感想を書く時間を確保する。</li> </ul> <p>自分の考えが伝わるように、適切な音量や速さ、言葉遣いで話している。(発表) 話の中心に気をつけながらメモを取り、感想を持っている。(聞き取りメモ、発言)</p>		

ま と め る  10 分	4 学習の振り返りをする。 今日の自分の発表について振り返ってみましょ う。 ・ふり返りカードに自己評価と感想を書く。 ・感想を聞き合う。	・今日の学習について振り返らせ、カード に気づいたことを書かせる。 ・友達の発表のよかった点も取り上げる。
---------------------------------	---	---

(4) 具体の評価規準と手立て

	A (十分満足)	B (おおむね満足)	C (努力を要する子への支援)
話す	発表メモを見ながら、自分の考 えがよく分かるように、適切な 言葉遣いで話すことができる。	発表メモを見ながら、自分の 考えを話すことができる。	発表原稿を見ながら、発表さ せる。
聞く	話の中心に気をつけてメモを取 り、感想を持つことができ、内 容や話し方の良さに気づくこ とができる。	話の中心に気をつけてメモ を取り、感想を持つことがで きる。	あらかじめ項目を書いたメモ 用紙を準備する。

《座席表》

教卓


## 《板書計画》

調べて発表しよう

「伝え合っ」ということ

自分の考えを「伝え合っ」  
発表会をしよう

発表のめあて

- ・ ゆっくりと
- ・ 聞こえる声で
- ・ 聞く人の顔を見て

メモのポイント

- ・ 大事なことを
- ・ 短く
- ・ 記号を使って

プログラム

- 一・はじめのことは
- 二・発表（質問・感想）  
グループ  
グループ  
グループ
- 三・おわりのことは